

2014 年 10 月 28 日

1. 基本情報

- (1) 国名：タジキスタン共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名
ハトロン州ハマドニ県
- (3) 案件名：ハマドニ県小児医療機材・施設改善計画(The Project for Improvement of Medical Equipment and Facilities for Child Health Care in Hamadoni District)
- (4) 事業の要約：タジキスタン南部ハマドニ県において二次小児医療施設の整備及び医療機材整備を行うことにより、同地域の小児医療環境を改善するもの。

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
タジキスタン共和国(以下、タジキスタン)における、5歳未満児死亡率は63.3/1000出生、乳児(1歳未満)死亡率は52.8/1000出生(2011年タジキスタン保健・社会保護省)と、中央アジア地域において最も劣悪な状態であり、右指標は乳幼児死亡率低減に関するタジキスタンの国連ミレニアム開発目標値を大きく下回っている(目標値：5歳未満児死亡率は39.3/1000出生、乳児死亡率は29.6/1000出生)。タジキスタン政府は、2010年には保健医療分野の戦略として、「国家保健戦略(2010-2020)」を策定し、母子保健サービス提供を重点分野と定め、乳幼児死亡率の低減に取り組んでいるが、旧ソ連時代から使用している老朽化した施設や、基礎的な医療機材などの整備が不十分であるなど、地域における中核的医療施設においても、適切な医療サービスの提供が困難な状態である。本事業の対象地域であるハトロン州ハマドニ県(人口約12.8万人)は、タジキスタン国内でとりわけ生活環境の安定が求められるアフガニスタン国境地域の中でも特に医療施設が近隣県に比べ劣悪な状態にあるため、本事業において二次小児医療施設の整備及び医療機材整備を行う必要性は高い。本事業の実施は同地域の小児医療の改善に寄与するものであり、また乳幼児死亡数の低減にも資することが期待される。

(2) 保健セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

本事業は、対タジキスタン共和国国別援助方針の開発課題である「保健医療体制の改善」及びJICA国別分析ペーパーの開発課題である「基礎的社会サービスの改善」に合致している。また、本事業プロジェクトサイトであるハマドニ県が位置するハトロン州はアフガニスタン国境に隣接する地理的条件や、貧困度が高いことから、国別援助方針において重点対象地域と定められており、本事業は我が国の協力方針に合致するものである。

(当該分野における主な協力実績)

- ・医療特別機材供与案件「母と子の健康改善」(2003～2008、2009～2013年度)
- ・医療特別機材供与案件「感染症対策特別医療機材供与」(2005～2009、2010～2014

年度)

- ・無償資金協力「ディアコフ国立病院医療機材整備計画」(2005 年)
- ・無償資金協力「母子保健施設医療機材・給排水設備改善計画」(2012 年・レファレル病院)
- ・技術協力「ハトロン州母子保健システム改善プロジェクト」(2012～2016 年)

(3) 他の援助機関の対応

世界保健機関、アジア開発銀行、世界銀行が中心となり、保健セクター制度改革支援を、国際連合児童基金、ドイツ国際協力公社、米国国際開発庁、スイス開発協力庁、アガ・ハーン財団、ドイツ復興金融公庫(KfW)等が保健分野における無償・技術支援を行っている。ハトロン州における母子保健支援については、KfW が各県中央病院の産婦人科整備等を実施している。本事業対象のハマドニ県中央病院では、KfW が産婦人科のインフラ支援を実施中である。

(4) 本事業を実施する意義

本事業は国別援助方針の開発課題である「保健医療体制の改善」に位置付けられ、タジキスタンの国家開発戦略とも一致する。国内でもとりわけ生活環境の安定が求められるアフガニスタン国境地域に位置するハマドニ県における小児医療の改善、ひいては小児の健康状況改善、死亡数の低減が期待される。対象となるハマドニ県中央病院は1日約100人の利用があり、ベッド占有率は76%と高い利用率の一方で、1980年代に建設されてから、これまでに修繕が行われていないため老朽化が進んでいる。さらに医療機材が不足しており、近隣県の医療施設よりも劣悪な状態にあることから、無償資金協力として本事業の実施意義は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、ハマドニ県において二次小児医療施設及び医療機材の整備を行うことにより、小児医療の改善を図り、もって同地域の小児の健康状況改善、死亡数の低減に寄与するものである。

② 事業内容

1) 土木工事、調達機器等の内容

【施設】：ハマドニ県中央病院小児科施設の整備（小児病棟整備、給排水設備）

【機材】：検査、診察、治療に必要な医療機材

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

調査により確認

3) 調達・施工方法：調査により確認

③ 他の JICA 事業との連携：特になし。

(2) 事業実施体制

① 事業実施機関／実施体制

タジキスタン国保健・社会保護省 (Ministry of Health and Social Security of Population)

② 他機関との連携・役割分担

本事業対象のハマドニ県中央病院の産婦人科に対しては、KfW がインフラ支援を実施中。小児医療の改善を目的とする本事業の実施により、ハマドニ県における包括的な母子保健分野の改善が見込まれる。

③ 運営／維持管理体制

保健・社会保護省は、我が国の医療機材整備案件や他ドナー支援による施設整備案件の管理を行っており、本事業に十分な事業実施能力を有している。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠: 本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(4) 横断的事項

・対象地域であるハトロン州の貧困率は 50.2% (2012 年 JICA 国別貧困プロフィール) であり、貧困対策に該当する。

(5) その他特記事項: なし。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

タジキスタンにおける保健事業の評価等では、適切な機材・施設管理を行うためには、人員配置・予算措置など機材・施設の運営維持管理体制、財政面について留意する必要があるとされている。本事業への教訓として、施設・機材の維持管理体制に留意し、先方の維持管理能力に配慮した機材・施設規模の選定を行う。

以 上

[別添資料] 地図

〔別添資料〕

案件地図

